

# 令和6・7年度 第1回国有林モニターアンケートの結果

林野庁では、国有林について幅広く国民の御意見・御要望をいただき、国有林野の管理経営に役立てるとともに、国有林野事業に対する理解を深めていただくなど、国民との双方向の情報・意見の交換など対話型の取組を行う「国有林モニター制度」を設けています。

四国森林管理局では、令和6～7年度の2年間に任期とするモニターを公募し、四国4県にお住まいの34名※に依頼しております。

今回は「森林・林業・国有林」について、「令和6年度四国森林管理局の重点取組事項」等を中心に、国有林モニターの皆様にご協力いただきましたので、その結果を紹介します。

アンケート結果につきましては、今後の四国森林管理局の取組を進めて行く上での貴重な御意見として参考にさせていただきます。

## ○アンケート実施概要

依頼者数：26名 ※アンケート実施時点の総員

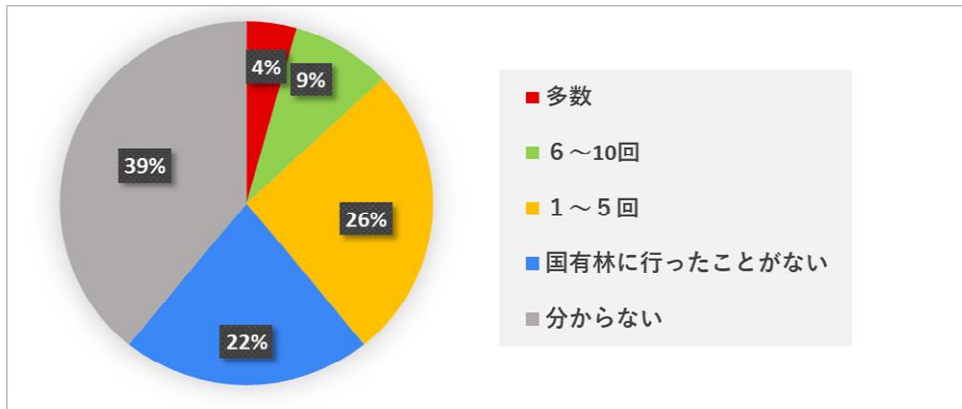
回答者数：23名（回収率88%）

※ 回答については、同旨の回答を統合したり、意味が変わらない範囲で文言を修正し、とりまとめています。

## I 森林・林業・国有林について

問1 日本の国土の約7割は森林が占めており、そのうちの約3割（国土の約2割）が国有林です。四国には約19万haの国有林が存在し、これは四国全土の約10%、香川県とほぼ同じ面積に相当します。

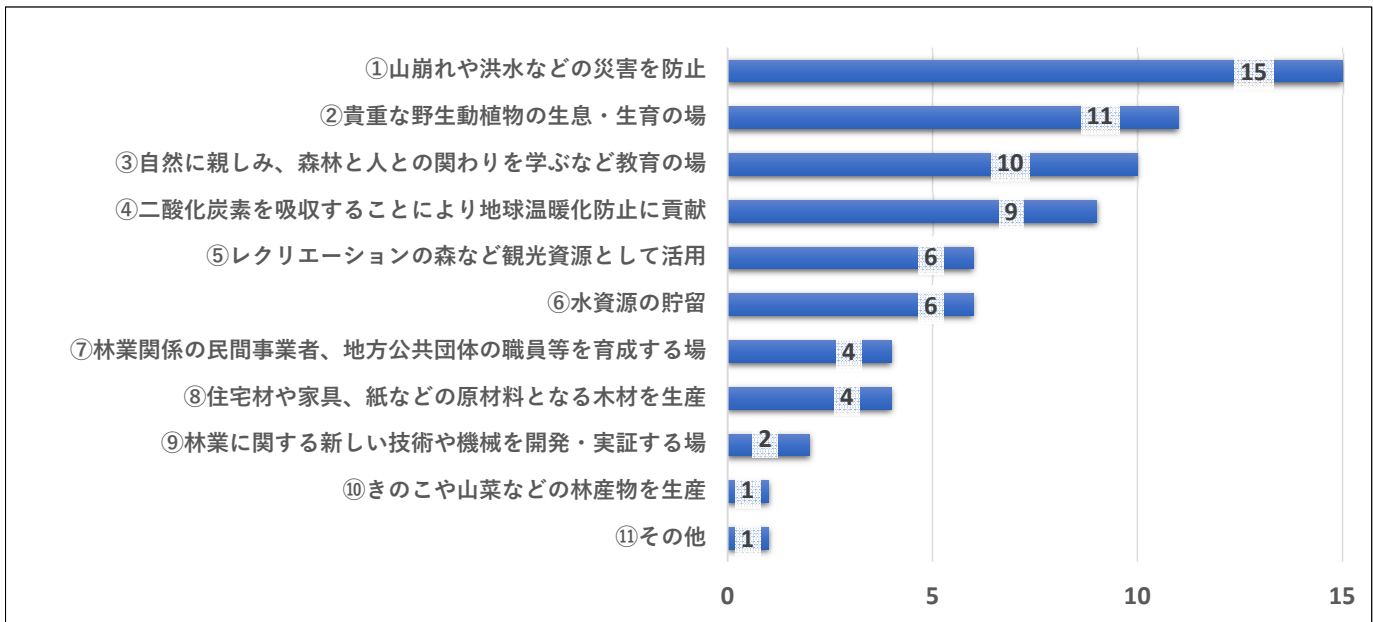
あなたは国有林に、これまでに何回訪れたことがありますか。



問2 四国の国有林は四国森林管理局が、国土の保全、水源の涵養、地球温暖化の防止、生物多様性の保全などの重要な公益的機能の発揮のため、管理・経営を行っています。

あなたは、国有林に対して、特にどのような役割を期待しますか。

（最もあてはまると思う選択肢を3つまで選択し、○を御記入ください）



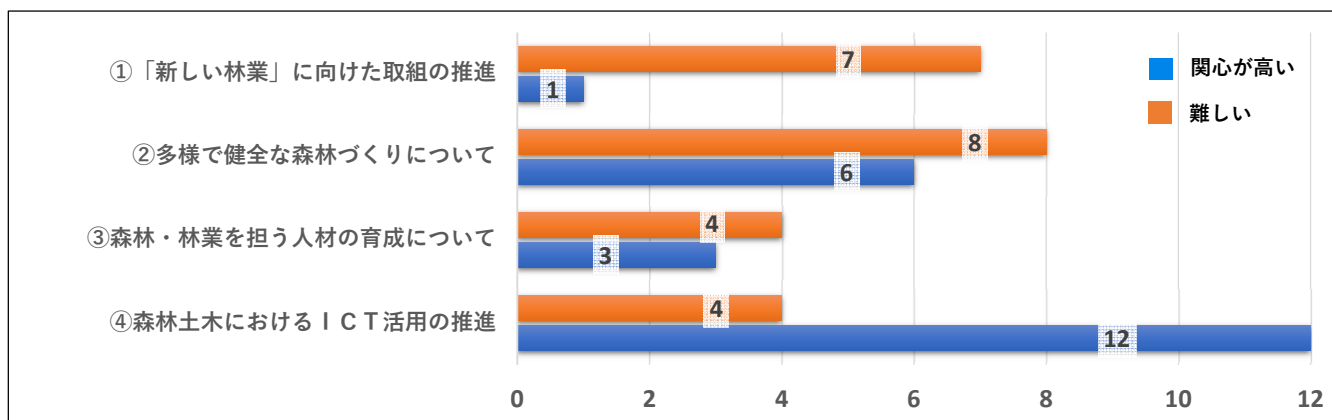
### \* 「⑥その他」で頂いたコメント（※抜粋）

- ・税金を投入しなくても持続可能な森林経営のモデル形成が必要

## II 四国森林管理局の取り組みについて

問3. 【令和6年度 四国森林管理局の重点取組事項】について、「令和6年度の重点取組事項のトピックス（P2～3）」から、特に関心の高い事項を1つ選択し、○を御記入ください。

また、理解ができなかった、難しかった事項についても1つ選択し、○を御記入ください。



問4 問3で選択した事項の理由や意見等があれば、お聞かせください。

### \* 関心が高い事項で頂いたコメント（※抜粋）

#### 1 「新しい林業」に向けた取組の推進

- ・伐期を迎えた人工林が増えて皆伐にも補助金が下りようになり、伐採のスピードが上がっている今、再造林作業は真剣に取り組まないと将来の木材資源が枯渇しかねません。造林技術の研究及び確立、低コスト化は力を入れて取り組んでいただきたいです。
- ・自身が植林をした経験があったことと獣害対策に取り組んでいるため興味があります。省力化・低コスト化は必須であるため、新しい林業形態の導入が重要であると考えています。
- ・林業に携わる人が減っているであろう今、いかに効率良く維持管理していくか、待ったなしだと思います。
- ・大学の講義でも、よく取り上げられるトピックであるため、実際に現状はどうなっているのか気になりました。また、林業分野では他分野に比べるとデジタル技術の開発が進んでいないと学びましたが、デジタル技術の活用状況について興味を湧きました。
- ・林業が魅力のあるものとなるような取組につながると考えます。

#### 2 多様で健全な森林づくりについて

- ・生物多様性の保全、ひいてはそれに対する国有林の役割について関心があります。
- ・経営的に厳しい条件の森林は、自然林に戻していくという方向の取組について知りたいです。
- ・未来の世代に受け継いできた森林を残すために、自分たちに出来ることは何だろう、と常々考えています。人工林から、一部は樹種様々な森に戻していく取組について知りたいです。
- ・多様な森林づくりが、森林の多面的機能の向上につながるという点が重要だと感じます。
- ・国会でも取り上げられている花粉の少ない苗木について知りたいです。

#### 3 森林・林業を担う人材の育成について

- ・林業は重労働のイメージがあるので、生産性に向けたデジタル技術、森林土木におけるICTの活用により、次世代の人材育成に取り組んでいただきたいです。
- ・ICT技術が発展していく中でも、人材の確保・育成は必ず必要と思います。
- ・市町村林務担当者実務研修 など、一般からでも参加したいほどです。

#### 4 森林土木におけるICT活用の推進

- ・森林土木 受発注情報共有システム、IC施工 遠隔臨場などについて、大変関心があります。
- ・元々ICTに興味があったものの、学校（大学）ではあまり習う機会がないため。
- ・ICTに詳しくないので少し難しく感じましたが、より安全で効率よく行える仕組みについて理解を深めたいです。

## ※ 難しいと感じた事項で頂いたコメント（※抜粋）

### 1 「新しい林業」に向けた取組の推進

- ・取組事項はいろいろとやっているとありますが、取組前、取組後、具体的にどうなったのかがほぼ記載されておらず、例えば冬下刈りは良いと思いますが、結果的にどうだったのかが無く、実績が21%→31%とあるだけだと、それがどうしたのかが分からない。

### 2 多様で健全な森林<sup>もり</sup>づくりについて

- ・針広混交林への誘導を行っているとおったが、そのメリットとデメリットを詳しく知りたいです。
- ・スギは花粉が多い樹種ではあるが、建築や家具材としても使える有用樹種でもあるため、需要があると思う。伐採を進めても供給はできるのでしょうか。また植え替えた苗木が育つまでの間はどのようにしていくのかについても知りたいです。

### 3 森林・林業を担う人材の育成について

- ・高校、大学だけでなく、小学校や中学校にまで範囲を広げて小さい頃から森林に関わる機会があれば良いと思いました。

### 4 森林土木におけるICT活用の推進

- ・ICT施工・遠隔臨場の活用については、実際に現地で確認しなければ難しいです。
- ・ICT掘削実行中の写真の掲載がありましたが、どのような技術でどのような作業が出来ているのか写真を見ただけでは判断できず、説明を聞かないと分からない。
- ・活用以前の仕事との効率の比較等、具体的にどのくらいICTが活用されているのか知りたいです。
- ・普段、話題を聞かない分野であるため、中々想像しずらく理解もしにくいです。
- ・「ICT」という言葉は良く聞かれますが、実は何の略なのかわかっていなくて調べました。専門用語として英語（あるいは略語）を使う場合、詳しく書いていただけると有難いです。
- ・ドローンは何を計測してどのようにそのデータを利用しているのか知りたいです。

問5 今後、国有林モニターとして、2年間の任期の中で現地説明会等に参加いただくこととなりますが、行ってみたい場所や知りたいことがあれば御記入ください。

## ※ 行ってみたい場所で頂いたコメント（※抜粋）

- ・高知県安芸市の、千本山周辺の天然ヤナセスギやトガサワラ等の個体群保護林に行ってみたいです。
- ・滑床自然休養林、四国カルストに行ってみたいです。
- ・最近整備された屋島に行ってみたいです。
- ・「緑の回廊」に行って、野生生物やその生息環境を観察してみたいです。
- ・瀬戸内の島で、国有林があれば行ってみたいです。
- ・植林の獣害対策の設置エリアの見学が可能なら御案内頂きたいです。

## ※ 知りたいことで頂いたコメント（※抜粋）

- ・「歩きへんろ」で山道を歩きますが、その時にイノシシ、シカ、クマ、ダニ対策として、どんなことに留意すればよいか知りたいです。
- ・過去から未来までの国有林の開発（道づくり、植林、伐採）や収支趣味レーションについて知りたいです。
- ・ICT活用について、実際どのように行われているか見てみたいです。
- ・隣人からシカ等による野菜苗被害の話をよく聞きます。獣害対策についてしっかりと学びたいです。
- ・獣害対策や、林業機械による間伐・主伐について関心があります。
- ・獣害対策で使う捕獲わなの設置や回収を体験してみたいです。
- ・「多様な森林」について、それぞれが健全であるという評価はどのようにして行っているのか知りたいです。
- ・国有林の様々な役割や歴史、課題等を、実際に現場を御案内頂きながら知りたいです。
- ・四国や日本の森の元気なところと、心配なところ（現状）の両方を知りたいです。
- ・林業において、実際に導入が進められているデジタル技術について知りたいです。
- ・コウヨウザンについては、かなり早く大径化するようなので、保育の手間は省けても、その後の伐採と活用が上手く回るのか、そこまで計画されているかが疑問です。